

海外情勢コラムは随時、更新を行っておりますので、是非、ご覧ください。

海外市場調査にご興味のある方は、TEL:03-6459-0165 又は
<http://www.global-marketing-labo.jp/contact/> までご連絡下さい。

WEEKLY NEWS

◆帯電防止剤：三洋化成工業がアウトガスやイオン溶出が少なくクリーン特性に優れる永久帯電防止剤を開発（10月13日）

三洋化成工業は、プラスチックの帯電を半永久的に防止する低抵抗タイプの永久帯電防止剤『ペレクトロン』シリーズについて、アウトガス、イオン溶出が少なくクリーン特性に優れる『ペレクトロン LIP』を開発したと発表した。

これまでは永久帯電防止剤の使用が難しかった熱安定性が悪化しやすい POM、PVC にも適用可能である。また、従来よりも PMMA の屈折率と近いことから、透明性が求められる PMMA に使用した場合でも、十分な視認性が確保できる。アウトガス、イオン溶出の低減が求められる精密電子部品の搬送容器（トレイやチューブ）、シート（キャリアテープやカバー）、フィルムなどの帯電防止に適している。

同社では、今後も帯電防止性を必要とする用途は広がっていくと考え、さまざまな種類、形状、成形方法、使用環境のプラスチックに適用できる製品のラインアップを拡充し、多様化する帯電防止ニーズに応えていくとしている。

◆樹脂：トクヤマが子会社の新第一塩ビの株式を取得（10月13日）

トクヤマは、連結子会社である新第一塩ビの株式について、日本ゼオンの全ての保有分を取得したと発表した。

新第一塩ビの事業内容は塩化ビニル樹脂の製造・販売で、資本金は 20 億円である。これにより新第一塩ビの出資比率は、トクヤマ 85.5%、住友化学 14.5% になるとしている。

◆繊維：東レの部分植物由来原料を使用したエコディア PTT 複合繊維（長繊維系）およびテキスタイルがエコマーク商品に認定（10月12日）

東レは、同社の部分植物由来原料を使用したエコディア PTT 複合繊維（長繊維系）およびテキスタイルがエコマーク商品に認定されたことを発表した。

これらのエコディア PTT 繊維製品は、米国ダウ・デュポン特殊化学品事業部門が製造し、デュポン・スペシャルティ・プロダクツが供給する部分植物由来ポリトリメチレンテレフタレート樹脂ソロナポリマーを使用したものである。

今回、エコディア PTT 複合繊維およびテキスタイルは、エコマーク商品類型

No.104「家庭用繊維製品」の紡織基礎製品として認定を受けた。PTT 繊維製品がタイプ I 環境ラベル(日本ではエコマーク)に認定されるのは、世界で初めてである。

昨今、環境への意識の高まりから、欧米のスポーツ・アウトドア分野をはじめ、カジュアルやファッション分野のアパレルブランドからも環境配慮型素材に対する要望が高まっている。今回、エコディア PTT がタイプ I 環境ラベルの認定商品となったことで、同社は PRIMEFLEX を、機能性と感性に加えて、信頼性の高い環境性能を備えた快適素材として、スポーツ・アウトドアから、カジュアル、ファッションまで幅広い分野に向けて展開を強化していくとしている。

◆自動車部品：日本ガイシが NOx の生産能力を増強(10月11日)

日本ガイシは、自動車の排ガスに含まれる窒素酸化物(NOx)濃度を測定する車載用の高精度 NOx センサーの需要拡大に対応するため、生産能力を年間約 1,800 万本から 2,500 万本に増強することを決定したと発表した。

世界的なディーゼル車の排ガス規制強化や欧州の新規制への対応のため、排ガス後処理システムのより精密な制御が必要とされることから、NOx センサーのさらなる搭載車数・搭載本数の増加が見込まれ、今後も需要拡大が続く見通しである。

同社は現在、NOx センサーの心臓部にあたるセラミック製の素子を NGK セラミックデバイスの小牧工場と石川工場生産し、NOx センサーの組み立てを名古屋事業所とポーランドの製造子会社 NGK セラミックスポーランドの第 1 工場で行っている。今回の投資では、NGK セラミックデバイス石川工場の素子製造設備と、NGK セラミックスポーランドのセンサー組み立て設備を投資額 140 億円で増強し、2019 年に生産を開始するとしている。

◆非鉄金属：三井金属が高純度五酸化タンタル新工場の竣工式を開催(10月10日)

三井金属は、機能粉事業部三池レアメタル工場において建設を進めていた高純度五酸化タンタルの生産能力増強に伴う新工場が完成し、三池レアメタル工場にて竣工式を実施したと発表した。

三池レアメタル工場では、使用済み電子機器をはじめとした多様なリサイクル原料から高純度五酸化タンタルを生産している。資源リサイクル等に関する次世代拠点の形成と展開に貢献可能なことから、本年 3 月に福岡県より『グリーンアジア国際戦略総合特区』に法人指定されている。本指定は、使用済み電子機器等からレアメタルであるタンタルを高効率に回収し、高純度五酸化タンタルを生産するための設備導入に対するものであり、国及び福岡県の支援制度

を活用して新工場が完成した。

同社では近年の需要増加に対して、安定した品質と十分な供給体制が構築されたとしている。

◆フィルム：帝人が DuPont とのフィルム事業合弁会社の持分を売却
(10月10日)

帝人は、米国デュポン社と共同で、米国、欧州及び中国のフィルム事業の合弁会社4社の所有持分全てを Indorama Netherlands B.V.に売却することを決定したことを発表した。

帝人は、デュポン社との合弁会社で事業運営を進めてきたポリエステルフィルム事業の構造転換を進めており、2016年に日本とインドネシアの合弁会社を完全子会社化している。それ以降、帝人では、日本とインドネシアにおいて PEN フィルムを含むポリエステルフィルムの更なる高機能化に資源を集中的に投入する方針としており、米国デュポン社との米国、イギリス、ルクセンブルグ、中国の合弁会社4社については資源投入対象としての重要性が低くなっていた。

このような状況を踏まえ、米国デュポン社とも協議を重ねた結果、当該4社の帝人所有持分全てを共同で Indorama Netherlands B.V.社に売却することとし、3者間で持分譲渡契約を締結した。

◆価格改定

- ・ダウ・デュポンが樹脂製品を10月16日出荷分より値上げ
値上げ幅は、66 ナイロン及び6 ナイロン樹脂：30円/kg
HTN 芳香族ナイロン樹脂：30円/kg
610、612、1010 ナイロン樹脂：50円/kg
ポリアセタール樹脂：20円/kg
- ・昭和電工が次亜塩素酸ソーダを11月1日出荷分より値上げ
値上げ幅は、4円/kg 以上



株式会社 工業市場研究所

TEL:03-6459-0165 FAX:03-5408-1584

〒105-0003 東京都港区西新橋 3-6-10 マストライフ西新橋ビル

<http://www.kohken-net.co.jp>

◆メールの設定により、読み難くなる場合がございます。ご容赦ください。

◆配信停止・ご意見・お問い合わせはこちらへ h-ikeda@kohken-net.co.jp

